

アフリカからの研修員が鞍手郡で パッケージ素材の最新技術を学びます

アフリカ出身の研修員が自国の文化や歴史背景を反映させたユニークかつ高品質な商品を発掘し、先進国をターゲットに市場のニーズをくみとり「売れるものをつくる」視点と「売るノウハウ」を実践的に学習する研修が2020年1月18日から始まっています。

日本市場の見学や、海外商品を取り扱う企業の訪問を通して、日本企業のマーケティング事例を学び、研修員は自国の特産品のブランディング化や伝統産業の海外市場への展開を探ります。

2月10日（月）には、卵や果物の輸送に広く用いられているパルプモウルトのトップメーカーである大石産業の鞍手工場において、最新技術を用いた物流のためのパッケージ素材について学びます。鞍手工場の製造現場の見学とパッケージ素材に関する講義を通して、海外市場への輸送に最適なパッケージについて理解が深まることが期待されます。是非、取材をご検討ください。

- 研修コース名：先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略 (B)
- 研修期間：2020年1月18日～2月23日 於 九州センター他
- 参加国（6ヶ国・9名）：エチオピア、ガーナ、ケニア、マラウイ、ナイジェリア、スーダン
- 取材対象日程：（取材申し込みは、以下問合せ先までご連絡ください）

講義・視察先	日時	場所
大石産業鞍手工場にて「物流のためのパッケージ素材の現状と将来」講義	2月10日（月） 14:00～16:00	大石産業株式会社鞍手工場 福岡県鞍手郡鞍手町古門 4032-1

【本件に関するお問い合わせ先】

JICA九州センター研修業務課 中野、能島
TEL：093-671-8360 FAX：093-671-0979